

大阪府市医療戦略会議について

資料2

平成25年8月27日 大阪府市統合本部 提出資料
大阪府市医療戦略会議

委員

- ・上山信一（慶應義塾大学総合政策学部 教授） 会長
- ・大嶽浩司（自治医科大学地域医療政策部門 准教授） 副会長
- ・澤田拓子（塩野義製薬株式会社 専務執行役員）
- ・茂松茂人（一般社団法人大阪府医師会 副会長）
- ・森下竜一（大阪大学医学系研究科 教授）

概要

強みを活かした「課題解決型」成長産業の振興など、医療関連分野の新産業育成、

10～20年先を見据えて需給状況を踏まえた医療・健康づくりサービスのあり方など、超高齢社会に向けた対応について、検討を行い、提言をとりまとめる。

先行して府民の健康寿命の延伸とQOLの向上のための新たな仕組みを構築することにより、関連産業の振興など、成長の好循環を生むことができる。

現在までに、5回開催。

ゲストスピーカーとして招いた各分野の有識者のプレゼンテーションを踏まえ、課題や将来を見据えた取組み等について意見交換。

今後、現状分析や主要課題について整理し、戦略とりまとめに向け、検討を行う。

開催実績

(第1回～第3回)

【第1回】 4月23日(火)

- ・会議の進め方、会長・副会長選任 等
- ・大阪府における関連産業振興施策の説明(大阪バイオ戦略と関西イノベーション国際戦略総合特区の取組み)
- ・大阪市における関連産業振興施策の説明(健康・医療・介護分野における産業振興の取組み、大阪バイオサイエンス研究所の取組み)
- ・健康食品の機能性表示に関する第三者認証制度の構築について、森下委員から提案

【第2回】 6月7日(金)

- ・健康食品の機能性表示に関する第三者認証制度の構築についての国への要望書提出の報告
- ・澤 芳樹 大阪大学医学系研究科教授(心臓血管外科学)
- 「Osaka Medical Innovation Polis構想(大阪メディカル特区)」
- ・大阪府市の医療・健康づくり分野関連産業振興施策の棚卸し評価

【第3回】 7月12日(金)

- ・遠山 正彌 「大阪の未来の医療をつくる会」委員 (地方独立行政法人大阪府立病院機構理事長)
- 『大阪の医療提供体制改革プラン』について
- ・渡辺 恭良 独立行政法人理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター長
健康科学イノベーション～医療関連分野の新産業育成と超高齢化社会を見据えた対応について～
- ・府立公衆衛生研究所と市立環境科学研究所の統合後の機関のポテンシャルについて説明

開催実績

(第 4 回 ~ 第 5 回)

【第4回】 7月22日(月)

- ・荒川 哲男 公立大学法人大阪市立大学大学院医学研究科長
ものづくり医療コンソーシアム構想 ~ 大阪の産業振興に向けて ~
- ・青木 豊彦 株式会社アオキ代表取締役社長
「医工連携によるビジネスチャンス」~ 大阪の企業のポテンシャルを発掘する ~
- ・茂松委員
「超高齢社会を支える大阪の医療 - 現状と課題、取組みなどー」

【第5回】 8月19日(月)

- ・生野 弘道 一般社団法人大阪府私立病院協会会長
超高齢社会 大阪の私立病院の役割
- ・大道 道大 一般社団法人大阪府私立病院協会副会長
超高齢社会に対応する新しい“まち”のかたち
- ・川淵 孝一 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医療経済学分野教授
持続可能な社会保障の構築について ~ 「医療の産業化」と「地域医療の充実」の同時達成は可能か？ ~

これまでの主な議論の内容

< 医療・健康づくり分野関連の新産業育成 >

府民の健康づくり、病気の予防に関する提案について

- 健康食品の機能性表示にかかる認証体制構築等
 ➡府市共同で国に要望書を提出(5月27日)
- 便利な場所での簡易なサービスの展開(えきなか健診サービスなど)
- 抗疲労など、「病気にならない医学」への取組みと産業化 など

研究開発、実用化を一層進めるための環境整備について

- 企業・関係機関全体のネットワーキング、コーディネート機能、人材育成
- 医療機器・関連サービスの海外展開
- 実証研究教育の拠点づくり
- 医療現場等のニーズ・研究シーズを、ものづくり中小企業の技術につなげる継続的な仕組み など

< 現状・課題を踏まえた超高齢社会に向けての対応 >

地域医療において大きな役割を果たしている私立病院の機能強化のための環境整備

超高齢社会に対応する新たなまちづくり

- 多様な主体が連携する医・食・住の新たなサービスの提案
- 都心人口密集地など、特定の地域の実情に応じた新しいまちづくりの提案、実証

まちづくりと併せた、見まもりや対面診療などICTを活用した医療・介護サービスの提案、実証
BIG DATAを活用したEBM(Evidence-Based Marketing) に基づく産業の創出、研究開発の推進